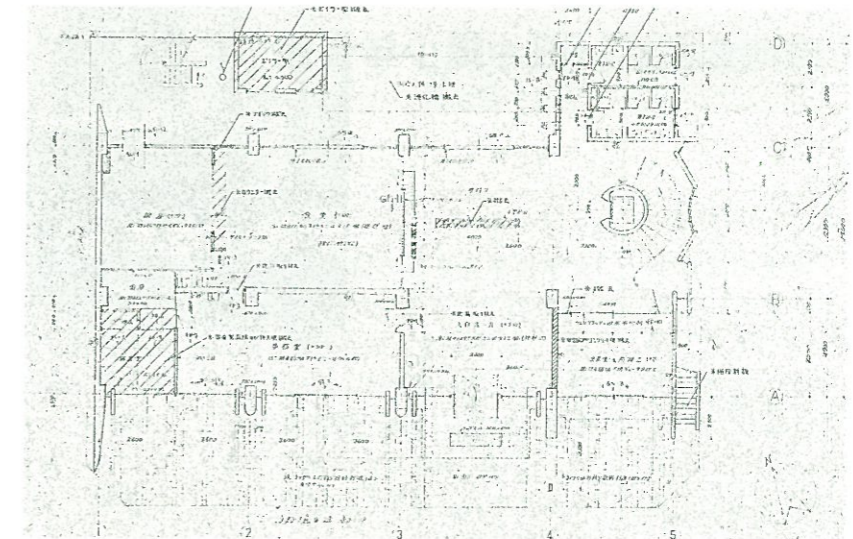
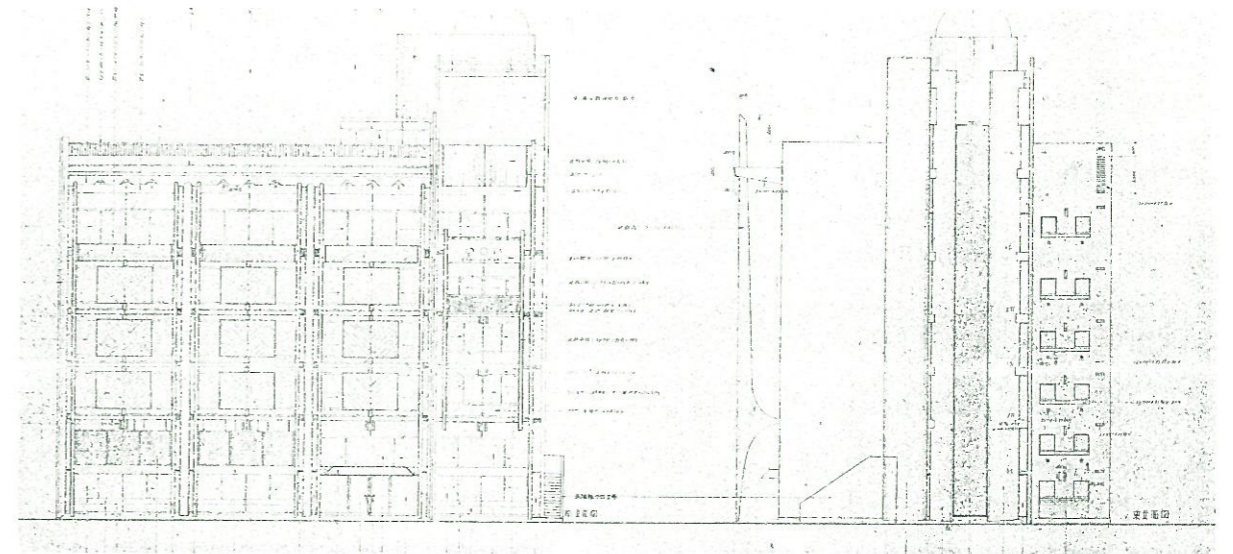


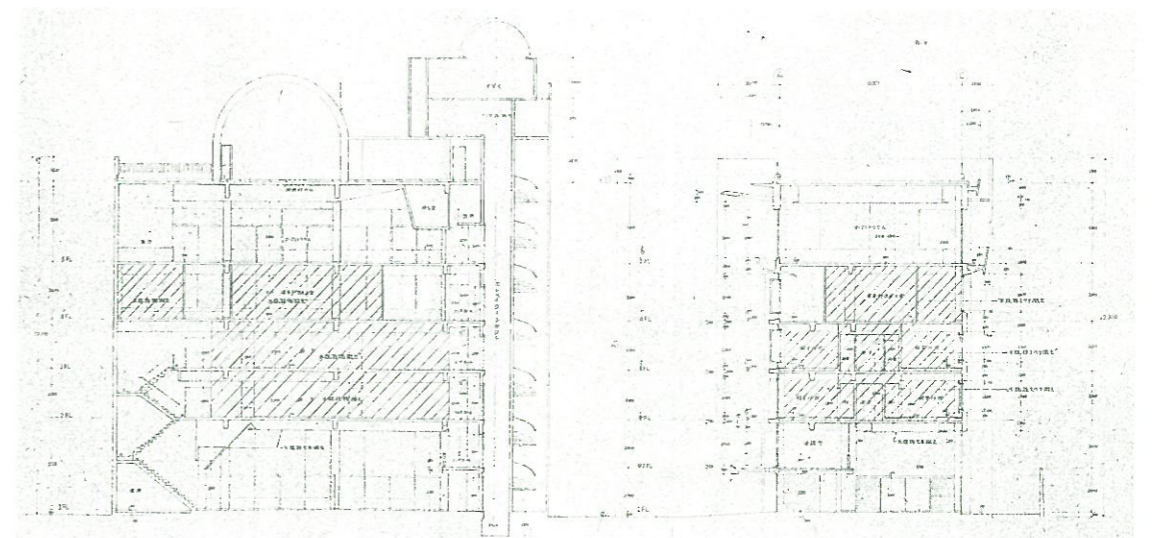
那覇市久茂地公民館（旧沖縄少年会館）



既設 1階平面図



立面図



断面図

＝ 建築概要 ＝

- 建築主 那覇市
- 所在地 那覇市久茂地3丁目24-1
- 建築用途 公民館
- 設計者 宮里栄一 一級建築士設計研究所
- 施工者 建築 善太郎組
設備 桐和商会、明電舎
- 工期 1965年1月～1966年2月
- 構造種別 RC造
- 階数 地上5階
- 敷地面積 656.04㎡
- 建築面積 458.19㎡
- 延床面積 2162.4㎡

各階諸室概要

- 1階：ロビー、事務局、会長室兼応接室、食堂、厨房、宿直室、倉庫、便所
- 中2階：教育相談室、図書室、会議室、更衣室、便所
- 2階：宿泊室、洗面所、浴室、便所
- 3階：同上
- 4階：児童科学展示室（鉄道模型含む）、便所
- 5階：オーディトリウム、映写室、便所
- PH1：エレベーター機械室
- PH2：ホール、渡り廊下、便所、プラネタリウム（床面積152.5㎡、126席、直径10m、高さ7m）、天体観測室（6インチ天体望遠鏡）

那覇市久茂地公民館（旧沖縄少年会館）について

宮里栄一 一級建築設計研究所

宮里 栄一

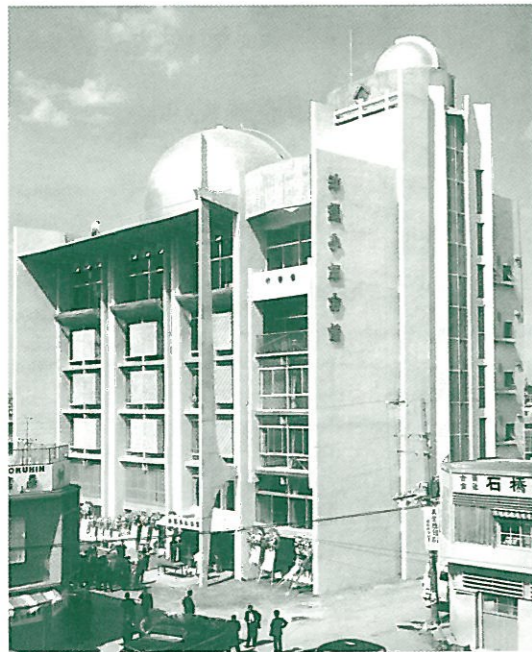
昭和30年代、本土では青少年センター、青少年ホーム等数々の社会施設があったが、沖縄にはこの種の施設が皆無に近く、離島や本島の遠隔の学校は、児童の那覇周辺修学旅行の宿泊のため安くて環境のよい宿泊施設を強く要望し、更に本土の青少年の交流も年々盛んになって、その子供達の受け入れのためにも必要とされた。米施政権下の特殊事情と青少年の非行犯罪が激増する社会情勢の中で青少年健全育成のため結成された“沖縄子どもを守る会”（会長屋良朝苗）は昭和38年の理事会で少年会館の建設を議決した。全国展開の募金活動の手初めに地元の諸団体、地方公共団体の深い理解と協力を得、本土では南方同胞援護会を中心に学校関係諸団体、自転車振興会、元東

大学長茅先生等の協力を得て、40数万ドルの膨大な資金を集め、この事業を完成させた。尚、皇太子、同妃殿下からも金一封が贈られた。少年会館設計のため、渋谷の東急文化会館のプラネタリウムと竣工したばかりの都立児童館を見学したが、施設の規模が大きく、予算的に真似できるものではなかった。

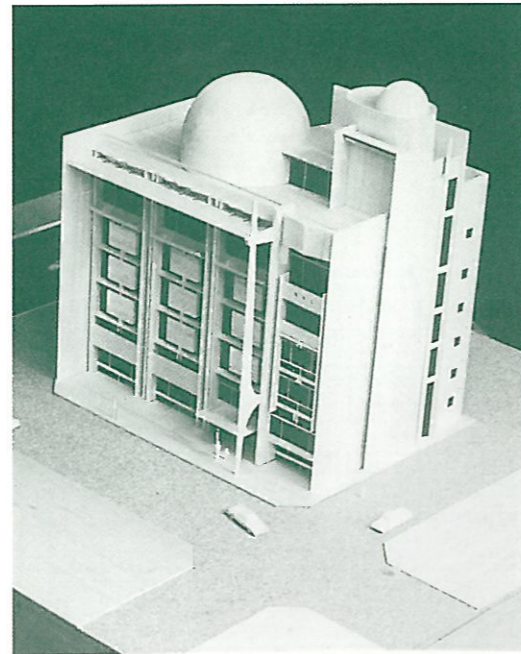
コンクリート打ち放しの建物はデザインの新しさと打ち放しの地肌が美しく昭和30年代の先端的な流行で、世界水準の音楽・舞台芸術の殿堂として昭和36年に建てられた東京文化会館は前川国男氏の傑作の一つでコンクリート打ち放しの同建物は建築界注視の的だった。筆者もそれを見学した。少年会館は沖縄で初めてのコンクリート打ち放しの建築で、曲線の多い型

枠づくりと打ち放しは施工者を四苦八苦させた。同工法は気苦勞もさることながら若干問題もある。前述の東京文化会館は20年後、コンクリートの中性化による被りコンクリート剥離のため、昭和57年リフリート工法による大掛かりな再生改修工事をされた。原因は主として骨材にあるのだがコンクリートの軟ネリにもある。

少年会館が落成したとき、地元新聞は子どもの夢を育てる殿堂として青少年の育成に対する期待と全国の善意が本土との一体感を深めるものと期待した。特にプラネタリウムと天体望遠鏡は児童の一大関心事で、見学申し込みが殺到した。復帰後那覇市に施設移管され公民館に改修された。



落成当時の沖縄少年会館



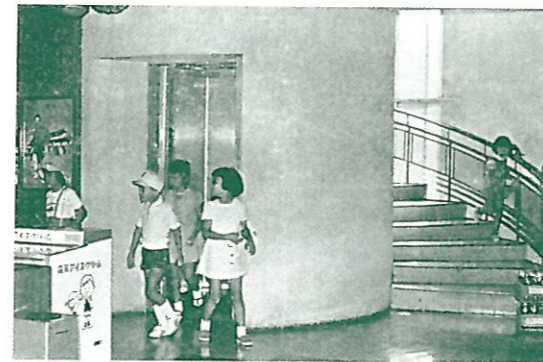
模型写真



玄関



売店



エレベーター

会館建設の経過

年月日	事項
1953年12月1日	沖縄子どもを守る会創立結成総会 屋良朝苗 会長就任
1962年9月29日	少年会館建設の大口募金打合せ会
1963年10月23日	少年会館建設募金、本土側へ協力要請の為、屋良会長上京
1964年1月3日 21日 7月12日 10月27日	少年会館建設協力を本土側へ要請の為、屋良会長上京 南方同胞援護会へ少年会館設計図送付 少年会館建設協力依頼の為、各地区婦人会長会開く 少年会館建設協力要請の為、屋良会長上京 少年会館建設協力要請の為、屋良会長上京
1965年1月19日 20日 2月9日 3月17日 4月21日 4月30日 5月25日 6月7日	少年会館建設入札行なう 少年会館起工式 少年会館建設工事着工 少年会館建設協力要請の為、屋良会長上京 少年会館建設協力要請の為、屋良会長上京 少年会館建設資金醸成協力依頼の為、木下サーカス団長木下光三氏と面接 木下サーカス少年会館建設資金醸成の為チャリティーショーを開く 木下サーカスより第二回目の寄附金受領
1965年7月10日 9月24日 10月10日 13日	少年会館募金協力要請の為、屋良会長上京 少年会館上棟式 少年会館建設募金下附さる 少年会館募金協力要請の為、屋良会長上京
1966年2月16日 22日 25日 4月7日 5月1日 7月1日 7日 11月16日	プラネタリウム試写会 茅誠司先生御夫妻来島 少年会館落成式奉告祭 少年会館開館す 少年会館映画上映開始 南方同胞援護会長 大浜信泉氏来館 館内放送整備完了 少年会館建設協力お礼の為、池原局長上京